

当学会への入会申込について

個人会員(正会員もしくは学生会員)としての入会をご希望の方は当学会の下記入会申込サイトからオンライン手続きでお申込み下さい。また、賛助会員(法人会員)としての入会をご希望の方は、下記サイトに掲載の「賛助会員入会申込書」にてお申込みください。

<http://www.rsj.or.jp/admission/registration>



正会員、学生会員及び賛助会員の、本学会への入会に際しての紹介者は必要ありません。

現在の会員は、研究者、教育者、生産技術担当者、技術コンサルタント、出版関係等幅広い分野の方で構成されています。

■個人会員(正会員、学生会員)の特典:

- ・国内唯一のロボット専門学会の個人会員として、論文発表、専門家ネットワーク構築などの面で、研究活動支援を享受でき、さらにロボットの専門家としての立場をPRできます
- ・小規模シンポジウム等で議論を深めたいテーマにつき、運営資金の支援を受け研究活動ができます
- ・日本ロボット学会誌に論文投稿できます
- ・最新先端技術の紹介と論文を掲載する日本ロボット学会誌を毎月お届けします。また最新の1年分を電子閲覧できます
- ・世界各国からの先端学術論文を掲載する欧文誌 Advanced Roboticsを電子閲覧できます
- ・日本ロボット学会学術講演会及びロボティクスシンポジウム他協賛学会主催の講演会での発表資格を得られます
- ・国内外の主催・共催学術講演会、シンポジウム、セミナー等に会員割引料金で参加できます
- ・日本ロボット学会学術講演会予稿集の全発表をアーカイブで閲覧できます

■賛助会員(法人会員)の特典:

- ・国内唯一のロボット専門学会の法人会員として、御社の有力ロボット関連企業としてのブランドを高めることができます

・賛助会員のリンクサイト

<http://www.rsj.or.jp/about/supporter>

- からの御社PRで、ロボット工学に係る優秀な学生の注目を集めることができます
- ・日本ロボット学会誌を一口当たり二部お届けします
- ・学術講演会優待券(2枚/口配布)で当学会学術講演会の正会員相当額により参加できます
- ・セミナー招待券(2枚/口)、セミナー優待券(10枚/口)による当学会セミナーの無料聴講もしくは正会員相当額による参加が可能です
- ・学会誌への広告掲載料金の割引特典があります

■会費:

正会員 : 年会費/¥10,000, 入会金/¥1,000
学生会員 : 年会費/¥4,000, 入会金/¥1,000
賛助会員 : 年会費/¥80,000(一口), 入会金/無し

■入会金・年会費の支払い方法:

入会申込と同時に入会金及び年会費を下記のいずれかの口座にご送金ください。

・銀行口座:

みずほ銀行 本郷支店 普通預金
口座番号: 2149569
口座名義: (一社)日本ロボット学会

・郵便振替:

口座番号: 00190-8-57896
口座名義: (一社)日本ロボット学会

特に学術講演会の講演申込時期に入会をご検討の方は、講演申込締切前に余裕をもって入会手続きを実施し、同時に入会金・年会費の振込を行ってください。

会員資格は、事務局での振込確認後となりますため、振込を実施してから3日営業日以後になることがございますので注意してください。

■入会手続きに関する問い合わせ先:

会員係Mailアドレス: service@rsj.or.jp
電話番号: 03-3812-7594



一般社団法人
日本ロボット学会
The Robotics Society of Japan

入会のご案内

2014年(平成26年)1月15日発行(通巻329号) 年10回発行(1,3,4,5,6,7,9,10,11,12号) ISSN 0209-1824
URL: <http://www.rsj.or.jp/>
Journal of the Robotics Society of Japan
日本ロボット学会誌 January 2014
Vol.32 No.1

【特集】

震災対応 レスキューロボットの活動を振り返ってI



RSJ 一般社団法人 日本ロボット学会

一般社団法人日本ロボット学会
〒113-0033 東京都文京区本郷2-19-7
ブルービルディング2階

Tel: 03-3812-7594 Fax: 03-3812-4628

<http://www.rsj.or.jp/>

専門家への学術支援

●知・情報の発信

・日本ロボット学会誌:

- 年間10号
- 役立つ最新技術情報を提供する解説記事
- 多様な分野の有用な論文 (要素, システム設計・構築, 人材育成・社会, 実証実験)



・Advanced Robotics: 年間24号

- 英語論文専門誌/電子出版
- 世界各国より多数の投稿 (年間500件以上)

●人的交流・情報共有のネットワーク

・日本ロボット学会学術講演会: 毎年9月

- 参加者約1200人, 発表約700件規模
- オープンフォーラムでの公開情報共有
- 機器展示行事による企業のPR



・ロボティクスシンポジア:

- 毎年3月
- ハイレベルの学術発表の場
- オーバーナイトセッションによる諸課題の白熱議論

●世界での日本の学術プレゼンス向上

・国際学会の共催:

- IROS
- Ro-man

・国際学会の協賛:

- ICRA他7会議

・アジア・オセアニア圏の学術連携:

- アジアロボット学会連合 (ARSU)



一般社団法人日本ロボット学会のプロフィール

- ・創立: 1983年1月28日
- ・目的: 学術界及び産業界のロボット工学の相互発展を目指し, 研究発表と技術交流の場を提供
- ・規模: 個人会員数/約4,100名, 賛助会員数/約70団体

産学の人的交流・情報共有による相互発展

学術界:

- ロボット工学
- 人工知能
- ヒューマンインターフェース
- 電気・電子・情報工学
- 機構学
- サービス工学
- 認知科学
- 心理学
- 社会学...

知の提供
発想の転換

産業界:

- 産業ロボット
- 製造業
- コンポーネント産業
- システムインテグレーション
- サービス業
- 医療・福祉業
- 農林水産業
- 建設業
- 鉱業...

要求の提供
実用化の視点

日本ロボット学会

ロボティクスの
貢献



●ロボット社会実装政策の提言

・東日本大震災関連活動:

- ・東日本大震災関連調査研究会
- ・廃炉に向けたロボットの調査研究会
- ・産業競争力懇談会: 災害対応ロボット社会実装

役に立つ学会を目指して

●産学連携活動

・産学連携フォーラム:

- ・ニーズとシーズの接点の議論

・日本ロボット工業会との連携活動:

- ・異業種企業との議論

・学術講演会

オープンフォーラム:

- ・学と産の考えを公開で議論

IRIX International Robot Exhibition 2013
International Forum on Industry-Academia Collaboration in Robotics
Planning and Programming Technologies for Industrial Robots
Sponsors: RSJ Robotics Society of Japan, Japan Robot Association, JARMAN KOYO SHIBURI (JARA)

Friday November 8, 2013, 10:30 - 12:15 (open from East 3 Hall Entrance) at Main Stage next to East 3 Hall

Biography of Speakers

Kenji Zushi
Kenji Zushi joined former Mitsubishi Electric Service Center in 1993. After following one-year training at Mitsubishi Electric Inveny Factory, he took charge of robot programming design and on-site adjustment during his assignment in Tokyo office. He started working in robot system engineering after being posted to Inveny, Osaka in 1994. He has been in charge of business startup negotiation, proposal of specifications, layout, and on-site process control, robot programming and on-site arrangements. From 2003, he has been responsible for sales support and system engineering for robots, Mitsubishi Electric System & Service Co. Ltd.

Hen-Paul Laumond
Hen-Paul Laumond (IEEE Fellow) is Senior Researcher at LAAS-CNRS in Toulouse, France. He got his Ph.D. in Robotics from the University Paul Sabatier in Toulouse in 1994. He joined CNRS in 1995, in July 2000 he has been invited as a guest professor at Stanford University. He has been a recipient of the French National Research Award (ANR) in 2005 and 2008. In the nineties, he has been co-ordinator of the European fourth project dedicated to robot motion planning technology. In 2001 and 2002 he created and managed Inveny CMA, a spin-off company devoted to developing a market for motion planning technology. He has published more than 100 papers on international journals and conferences in Robotics, Computer Science, Automatic Control and Neuroscience. He has been the 2011-2012 recipient of the "Chaire Innovation Technologique Liliane Bettencourt" at Collège de France in Paris.

Tatsuki Inaba
Tatsuki Inaba joined Nissan Motor Company in 1985. He was assigned to Production Engineering Division and worked as an engineer, permanently assigned to a factory. Then he was in charge of starting a new application of robot simulation for welding process, afterwards in charge of planning and design of robot system. From May 2006, he has worked on sales and application promotion of robot simulation for clients in manufacturing (Automotive Engineering Division, Digital Process)

Dimitri Manocha
Dimitri Manocha is currently Ph.D. Thesis/Assistant Professor at the University of North Carolina at Chapel Hill. He has co-authored more than 500 papers in the machine learning and

●将来の担い手の育成

・ロボット工学セミナー: 年7回

- ・基礎から先端まで幅広く紹介
- ・画像処理・ロボット作りが好評



・若年層の教育企画:

- ・国際ロボットハイスクール (IRH): 国内外の高校生による国際ロボット展の研究
- ・小学生向け夏休みからくり講座



●日々役に立つWebサイトコンテンツ

(<http://www.rsj.or.jp/>)

・ロボット研究開発アーカイブ:

- ・ロボット学の知を年表上から体系的に閲覧 (<http://rraj.rsj-web.org/>)

・著作権の解説:

- ・普段気になる著作権につき平易に解説 (<http://www.rsj.or.jp/compliance/copyright>)

・日本のロボット研究室:

- ・国内の大学・研究所のロボット研究室へのリンク (<http://www.rsj.or.jp/rij/>)